

春の全国交通安全運動期間中の交通事故発生状況について

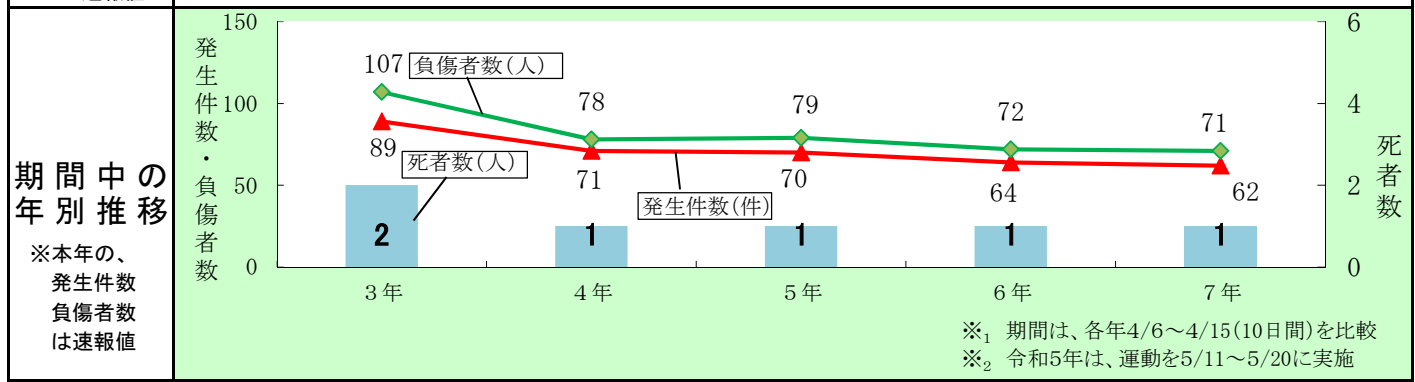
**概況**

4月6日(日)から4月15日(火)までの10日間、『春の道 譲る気持ちに 笑顔サク』をスローガンに掲げ「こどもを始めとする歩行者が安全に通行できる道路交通環境の確保と正しい横断方法の実践」等を重点に春の全国交通安全運動を実施した。期間中の交通事故は、前年同期比で発生件数・負傷者数ともに減少し、死者数は1人と、前年と同数であった。4月10日は、「交通事故死ゼロを目指す日」として取り組んだ結果、県内において交通死亡事故の発生はなかった。

区分\年	令和7年	対前年比		区分\年	令和7年	対前年比	
		増減数	増減率			増減数	増減率
発生件数	62	-2	-3.1%	発生件数	705	-51	-6.7%
死者数	1	±0	0.0%	死者数	12	-3	-20.0%
負傷者数	71	-1	-1.4%	負傷者数	793	-56	-6.6%
重傷者	15	+1	+7.1%	重傷者	142	-14	-9.0%

●運動期間中（4月6日～15日） ●本年累計（4月15日現在）

※本年の、発生件数・負傷者数は速報値



**死亡事故概況**

No.	月日	曜日	時間	昼夜	発生地	路線	道路形状	事故類型	事故概要
1	4月7日	月	12:57	昼	柏崎市	国道8号	交差点	人対車両	84歳男性運転の軽乗用車が、横断歩道を横断中の <b>96歳女性歩行者</b> と衝突。 ※ 死者は <b>ゴシック体</b> で表示

**特定事故の発生状況**

区分	特定事故		こども事故		高齢者事故		高齢運転者による事故		歩行者事故		自転車事故		飲酒事故					
	増減数	増減率	増減数	増減率	増減数	増減率	増減数	増減率	増減数	増減率	増減数	増減率	増減数	増減率				
発生件数	2	-2	-50.0%	33	+1	+3.1%	22	-1	-4.3%	14	-2	-12.5%	3	-9	-75.0%	0	-1	-100.0%
死者数	0	±0	-	1	±0	-	0	-1	-100.0%	1	+1	-	0	±0	-	0	±0	-
負傷者数	2	-3	-60.0%	15	-3	-16.7%	26	+2	+8.3%	13	-3	-18.8%	3	-8	-72.7%	0	-1	-100.0%
重傷者	0	-1	-100.0%	6	-2	-25.0%	7	+1	+16.7%	5	+2	+66.7%	2	-2	-50.0%	0	±0	-

※ 増減数は、前年同期比

- こども事故の負傷者(2人)のうち、車両同乗中が1人、歩行者が1人。
- 高齢者事故の負傷者(15人)のうち、自動車乗用中が9人、原動機付自転車乗用中が1人、自転車乗用中が1人、歩行者が4人。
- 高齢運転者による事故(22件)のうち、対歩行者が5件、対車両が17件。
- 歩行者事故の負傷者(13人)のうち、横断中が10人で、うち横断歩道横断中が6人。
- 自転車事故の負傷者(3人)のうち、対車両が3人。
- 飲酒事故の発生はなかった。

※本年の、発生件数・負傷者数は速報値

公安委員会説明資料

令和7年4月23日

警備部外事課

## 新潟港危機管理コアメンバー会議の開催について

項目	内容
目的	「新潟港危機管理コアメンバー」の連絡体制の確立と情報共有を図ることにより、港湾危機管理態勢を強化するため。
日時・場所	令和7年5月13日（火） 午後1時30分から午後2時30分までの間 新潟県庁西回廊講堂
参加機関	1 新潟港危機管理コアメンバー（10機関） (1) 新潟港危機管理担当官 新潟県警察本部外事課長 (2) 新潟港危機管理副担当官 新潟海上保安部長 (3) その他構成機関 東京出入国在留管理局新潟出張所、東京税関新潟税関支署、新潟検疫所、北陸信越運輸局、北陸地方整備局、新潟県新潟地域振興局新潟港湾事務所、新潟市消防局、新発田地域広域事務組合消防本部 2 オブザーバー（5機関） 第九管区海上保安本部、新潟県交通政策局港湾整備課、新潟県防災局危機対策課、新潟市危機管理防災局危機対策課、新潟地方検察庁
次第	1 新潟港危機管理担当官挨拶 2 新潟港危機管理副担当官挨拶 3 新潟港危機管理コアメンバー構成員等の紹介 4 情勢説明（各機関） 5 緊急時連絡体制確認
広報	会議は冒頭の正副危機管理担当官挨拶のみ報道対応予定。